

《東中国教区公式ホームページ》  
<http://uccj-higashi-chugoku.org/>



情報化の進む昨今、ホームページの活用も  
 主の福音を宣べ伝えるための有用な手立てで

教区ニュース誌委員会 有岡史季

東中国教区  
 公式ホームページ、  
 リニューアル



東中国教区  
 教区ニュース誌委員会  
 〒770-0088  
 倉敷市鶴形一幸五  
 倉敷キリスト会館内  
 旧(06)432-1780

あるとの認識に立ち、東中国教区公式ホームページが開設されました。そしてこの度、二〇一六年四月から、教区ニュース誌委員会の運営の下、諸教会の皆さまのご協力も得て、全く新しい東中国教区公式ホームページが公開されました。

より新鮮な情報の発信を心がけるとともに、教区に連なる諸教会の紹介ページを設けたり、また、教会運営に便利な報告書類・申請書類の雛型をインターネット上から取得できるようにしたりと、情報の詳細さと利便性の向上を図りました。

教会紹介のページでは、各教会の住所・電話番号などの基本情報の他、特色や歴史について記載しています。皆様にとって東中国教区に属する諸教会を知って頂く一助になれば幸いです。報告・申請書類の雛型につきましては、兵庫教区事務所の主事である森なおさんのご厚意で資料を転載致しました。こちらも円滑な教会運営のためにご活用ください。

そのほか、「教区ウェブニュース」と題して、動画配信サービスを活用してのニュース映像の公開も始めました。教区の諸活動をどうぞ映像でご覧ください。また直近の「教区

目次

- 東中国教区公式ホームページ、リニューアル.....1
- 教区総会 議長報告.....2
- 第六五回定期教区総会報告.....3
- 新任教師紹介(岡山博愛会 境港、用瀬).....4
- 教区伝道協議会(鳥取県側)報告.....5
- 教会紹介(米子教会).....6
- ナインの会 一五周年特別伝道企画.....7
- 無線式補聴システムのご案内.....8
- 教区の集いの案内、編集後記.....9



↑スマートフォン用ホームページ

「ニュース誌」もホームページ上で閲覧できるようにになりました。現在、「教区ニュース誌」のバックナンバーも公開に向けて準備中です。ホームページを閲覧する際には、パソコンよりもスマートフォンを利用する場合が増えてきていることに配慮して、スマートフォン用のホームページも用意致しました。紙媒体としての「教区ニュース誌」と併せて、教区公式ホームページもご活用いただくことで、より一層、この東中国教区の諸教会について、諸活動について知って頂ければホームページ公開に関わった一人としてとても幸いに思います。どうぞ覗きにいらしてください。

# 《教区総会》議長報告

総会議長 嵐 護

第六五回教区総会は、五月二三日(月)・二四日(火)の両日に岡山教会を会場として行われました。議員の皆様、総会開催に当たってご奉仕くださいました岡山教会の皆様、駐車場を提供してくださいました岡山聖心教会に心からお礼を申し上げます。

議事に先立ち開会礼拝を守りました。司式 嶋村輝子さん(岡山教会)、奏楽岩田美穂さん(岡山教会)、説教『信頼して服従しなさい』山本修一牧師(津山城西・美作落合教会)、聖餐司式野々川康弘牧師(米子教会)、献金担当四教会の皆さんにそれぞれご奉仕をいただきました。

議員の皆様には熱心にご審議をいただきました。議案第一〇号『改訂宣教基礎理論』について教団常議員会への意見書提出に関する件が常置委員会付託、それ以外の議案は原案どおり可決・承認となりました。総会の運営にご尽力いただきました総会特別委員及び総会常任委員の皆様にあらためて感謝を申し上げます。このようなご協力をいただきながらも、議事運営の拙さから予定の閉会時間を一時間延長せざるを得ない事態に至りましたことを申し訳なく思います。

議事の経過は速報、議事録によって詳しく

お知らせしますので、それに委ねます。全体の印象として、議長報告、各地区・委員会報告、予算決算・会計関連議案に徹底している課題は伝道資金制度を東中国教区にどのようなように当てるのかの共通認識であったと思います。引き続き、実効性のある制度運用を目指していかねばなりません。蕃山町教会との課題は、理解を深め合うことが肝要と考えます。また、第四〇回教団総会議員選挙が行われ、一二人の皆さんが選ばれました。主の御守りのもとにあることを信じ祈ります。なお、「安全保障関連法廃止要求に関する件」の議決に基づく関係機関への文書送付は、二七日(金)に行いました。

初日の夕べの部は、岡山教会四階集会室において、初めての試みとして「夕食・協議・交わり・讃美・祈り」を守りました。昨年度、三役の各地区への訪問の際に、総会に出席しても教区に関わる発言をする場がないのご意見をお聴きしましたので、皆さんがくじ引きで各テーブルに着き、テーブルごとに配置されている常置委員がファシリテーターとして、ご意見を引き出す役割を担おうとしたものです。食事後は、永倉直嗣牧師(岡山聖心教会)に導いていただいて「讃美と祈り」とき」を持ちました。感謝いたします。

二日目の冒頭には、渡辺真一さん(岡山博愛会教会)の按手札、中道祐太さん(境港教会)の准允式が主の祝福のうちに執り行われました。お二人からの決意の言葉を参会者全

員が受け止め、聖霊の助けを祈りました。また、当日の午後一時からは「逝去者記念礼拝式」が司式中井大介牧師(総会書記・倉敷教会)、奏楽今城信子さん(岡山教会)、説教『主にある者の幸い』永倉信嗣牧師(岡山聖心教会)にご奉仕をお願いしました。

二四日(火)午後四時、全ての議事を議了し、議長の閉会宣言の後、延藤好英牧師の祈りをもって閉会しました。

以上



# 第六五回東中国教区 定期総会報告

教区書記 中井大介

日時：二〇一六年五月三日(月)一三時  
～五月二四日(火)一五時五九分  
場所：日本基督教団岡山教会

開会礼拝式 一三日(月)一三時

説教：山本修一牧師(津山城西・美作落合)

司会：嶋村輝子(岡山)

聖餐式司式：野々川康弘牧(米子)

奏楽：岩田美穂(岡山)

夕べの集い《テゼ・スタイル》

一三日(月)一八時一三分

司式：永倉直嗣牧師(岡山聖心)

准允・按手礼式 二四日(火)九時

受允者：中道祐太牧師(境港)

受按者：渡辺真一牧師(岡山博愛会)

司式：嵐護議長

奏楽：内田早苗(岡山)

逝去者記念礼拝式 二四日(火)一三時

説教：永倉信嗣牧師(岡山聖心)

司会：中井大介牧師(倉敷)

奏楽：今城信子(岡山)

組織会(出席議員数の確認と開会宣言)

正議員八七名中六八名出席

◆嵐護議長による開会宣言及び開会祈祷。

(一) 補助書記選任に関する件

有岡史季議員(倉敷)

野々川康弘議員(米子)を選任した。

(二) 第六五回定期総会執行順序(案)承認に関する件

(三) 推薦准議員に関する件

賛成多数により可決した。

(四) 総会特別委員、総会常任委員選任に関する件

総会特別委員(議事運営委員、報告審査委員、財務審査委員、建議・請願審査委員、選挙委員)、総会常任委員(会計監査委員、教会記録審査委員)

右記、各委員を選任した。

(五) 教区議長報告に関する件

承認

(六) 常置委員会報告・教勢教務報告に関する件

承認

(七) 各地区・各部委員会報告に関する件

承認

(八) 第四〇回教団総会議員選挙に関する件

最後に開票結果

(九) 二〇一五年度教区歳入歳出決算承認に関する件

承認

(一〇) 会計監査報告に関する件

承認

(一一) 按手礼執行承認に関する件

承認

(一二) 准允執行承認に関する件

承認

(一三) 教会強化特別資金運用規定の一部改正に関する件

承認

(一四) 『改訂宣教基礎理論』について教団常議員会への意見書提出に関する件

常置委員会付託

(一五) 安全保障関連法案廃止要求に関する件

四七名中二九名賛成、可決

(一六) 総会特別委員会、総会常任委員会報告に関する件

承認

(一七) 負担金算出賦課案に関する件

承認

(一八) 二〇一六年度教区歳入歳出予算に関する件

承認

(一九) 伝道資金特別会計設置に関する件

承認

(二〇) 二〇一六年度内の按手・准允に関する件

常置委員会付託

(二一) 第六五回定期総会議事録承認に関する件

常置委員会付託

(二二) 第六六回定期総会開催日時・場所に関する件

常置委員会付託

第四〇回教団総会議員選挙 結果

| 信 徒 (六名) |       |              | 補 充 員 |       |     | 教 師 (六名) |       |     |
|----------|-------|--------------|-------|-------|-----|----------|-------|-----|
| 一        | 土井しのぶ | 四四票          | 一     | 田中 寿明 | 二五票 | 一        | 大塚 忍  | 五五票 |
| 二        | 松田 章義 | 四一票          | 二     | 奥田 望  | 一二票 | 二        | 中井 大介 | 五〇票 |
| 三        | 難波 幸矢 | 三五票          | 三     | 田中 啓子 | 一二票 | 三        | 柴田 彰  | 四六票 |
| 四        | 佐藤 孝志 | 三五票          | 六     | 森嶋 道  | 三二票 | 四        | 嵐 護   | 四五票 |
| 五        | 丸山 玲子 | ①三四票 ②決選 三九票 | 五     | 服部 修  | 三八票 | 五        | 服部 修  | 三八票 |
| 六        | 平川 英勝 | ①三四票 ②決選 三八票 | 四     | 補 充 員 |     | 六        | 森嶋 道  | 三二票 |
| 一        | 河田 直子 | ①三四票 ②決選 二九票 | 三     | 田 中   |     | 三        | 田 中   |     |
| 二        | 島村 輝子 | 二〇票          | 二     | 奥田 望  |     | 二        | 奥田 望  |     |
| 三        | 岡岡 啓二 | 一五票          | 一     | 土井しのぶ |     | 一        | 土井しのぶ |     |

新任教師紹介

岡山博愛会教会



渡辺 真一

この四月より岡山博愛会教会に赴任をいたしました、渡辺真一です。今年より東中国教区でお世話になります。赴任して早速に、五月の教区総会で接手札式を執り行っていたいただき感謝申し上げます。また、東中国教区の多くの方々との出会いに心から感謝の思いです。

私が赴任をいたしました岡山博愛会は、教会だけでなく、病院や高齢者福祉施設、また保育園など社会福祉法人の諸施設もまた信仰を土台に営んでおります。一二五年の教会の歴史の中で受け継がれてきた岡山博愛会の様々な働きと信仰を、牧者として拙いながらも一端を担っていきたいと願っています。また、与えられている恵みに足ることを知り、感謝と祈りをもって、謙遜に歩み続けたいと思います。

主任担任教師として初めて牧会を担うこととなり不安と希望を抱いて日々を過ごしてお

りますが、主の御旨にかなうよう宣教の業に懸命に努めていきたいと思っております。右も左もわからないことが多く、未熟な者ですが、ご迷惑もおかけすることかと思いますが、これらもどうぞよろしく願います。今後とも祈りと交わりの中に覚えて頂ければありがたく願っております。

境港教会



中道 祐太

この三月に関西学院大学大学院神学研究科の前期課程を修了し、四月から境港教会に赴任しました中道祐太です。

六年間、学校や教会の中で、人見知りには相変わらず直ることはありませんでした。けれども、「寄り添う」ということに関しては、牧会や臨床牧会実習などの授業と研修を通してたくさん学ぶことができました。その学びから「寄り添う」ということに関してはある程度の自信を持っていました。しかしながら、四月の最後の主日に入院をされていた教会員さんの訃報を知らされ葬儀を執り行うことになりま

した。神学生時代には多くの葬儀に出席し、裏方として奉仕をさせていただけただけにはありませんが、司式者としては初めてでした。もちろん、その場において自分が勉強していた「寄り添う」という「理論」だけではもちろん通用することはありませんでした。けれども、神様がご遺族や私たちにも働きかけ慰められていることに気づかされました。私たちに働きかけてくださる主に委ねつつ、これからも仕えていきます。

まだまだ至らぬ所だらけですけれども、これからも「実践」を通して様々なことを学び、東中国教区の皆さまとともに歩んで参りたいと思っておりますので、どうぞこれからの交わりとご指導、お支えをよろしくお願いいたします。

用瀬教会



稗田みどり

『東中国教区に来て!』

初めまして、この度、東中国教区、用瀬教会の主任担任教師として遣わされました稗田

みどりと申します。けれども、「またお会いしましたね」とご挨拶をさせて頂けるみな様もいらっしやいます。一〇年前、米子教会の伝道師として遣わされましたので、東中国教区は二回目となりました。前任地は西中国教区の松江教会で、任期満了により辞し、主の導きにより用瀬教会に導かれました。東中国教区は教団で二番目に小さい教区と伺いました。それでも四八の教会・伝道所があるということですから、各教会の伝道の灯が消えることなく、今まで主の栄光を現わし続けてこられたことを思い励まされます。これから諸先輩の皆様にご指導を頂きながら、用瀬教会の牧師として与えられている務めを果たしてまりたいと願っています。

また、去る六月一二日(日)午後三時より、東中国教区総会副議長大塚忍牧師(岡山教会)司式によって、感謝の内に就任式が執り行われましたことをご報告させて頂きます。教区内の各教会、皆様に御列席賜り、またお祈りに覚えて頂き心より感謝いたします。教会員共々、思いを新たにして、主と教会に喜びをもって参り参りたいと思えます。良きお交わりを直しくお願い致します。

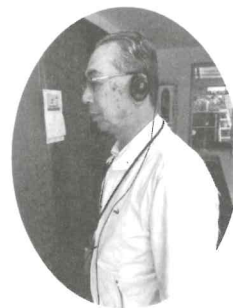
★セクシュアル・ハラスメント相談窓口★

毎月第三水曜日 午前九時～午後九時  
電話番号 〇九〇一―二三三〇―八七三〇

無線式補聴システムのご案内

琴浦教会 佐藤孝志

昨今、各教会では高齢化が進み、礼拝説教が聞き取りにくい方が増加しています。拡声設備や個人的に補聴器で対応していますが、今一歩、鮮明に聞こえないのが難点でした。そこで、いろいろ調査したところ、期待に応えられる「無線式補聴システム」に出会いました。



このシステムが聴こえづらい人に本当に効果があるか先行事例を探していたところ、旭東教会の栗原さんが導入されていることが判明しました。

早速、体験に伺い効果を確認し、琴浦教会も導入を決定いたしました。体験希望の教会は、「旭東教会」、「琴浦教会」へ連絡してください。



- メーカー：TOA
- 送信機：¥46,000
- 受信機：¥25,700
- イヤホン：¥ 3,090
- \*受信機、イヤホンは人数分必要です。

# 教区伝道協議会 （鳥取県側）報告

上井教会 田中英也

テーマ「今後の教会どうしたらいい？」

三月二一日の午後、倉吉教会を会場に開催された。久しぶりに県下十教会の教師・信徒二九名が一堂に集まり協議する時が与えられ感謝であった。

## 〈基調講演〉

柴田彰牧師（倉吉教会）

前任の埼玉、福島での体験を話された。教団副議長はデータに基づき将来、牧師の一〇〜一五％は生活が困難となると予測された。現状の教会は成長戦略を描いて砦のような教会を必死で守ってきており疲れている。私は教会の将来像は、信徒の群れを守り、礼拝をする人を大切にすることだと考えている。また一教会一牧師の宣教論でなく、地区での連携・協働活動を構築する教会作りが必要であると語られた。

## 〈信徒発題〉

国岡啓二兄（用瀬教会）

葉牧師と国岡兄の二〇一三年のパソコン

メール資料（五ページ）を基に、葉牧師が用瀬教会に赴任後の四年間に、牧師と信徒の協働活動の恵みの結実として十七名の受洗者が与えられたこと。召天されたある教会役員の「偉大な忍耐」のこと。教会員三名の作業チームで総社教会・十文字教会の作業支援をしたこと。教会堂の増改築に皆で取り組んだことなど、篤く語られた。

## 〈分団協議〉

### 〔A分団〕

司会進行 松田章義兄（鳥取教会）

自己紹介後、用瀬教会の取り組みを参考にして牧師と信徒の信頼関係や信徒間の人間関係のあり方について話し合い、新たな教会作りについて考えた。また、倉吉地区三教会合同の研修会や讚美礼拝、岡山中地区のヨルダン会の取り組みなどの事例より、信徒間の交流が深まれば主体的な活動が出てくる。それらをむやみに組織化・管理化する必要はなく温かく見守り育てていくことが肝要である。

### 〔B分団〕

司会進行 牧野卓哉兄（倉吉教会）

気楽に雑談をしようやと呼びかけて用瀬教会の取り組みについて話し合った。牧師の信徒に対する細やかな配慮を重く感じた。また牧師と信徒の信頼関係の大切さを深く思わされた。

教会活動は身近なことをこつこつ継続し、牧師が変わっても教会員が減少しないようにしていきたいものである。

### 〔C分団〕

司会進行 松原慎一兄（米子教会）

信徒の群れを守るには、今与えられている信仰の喜び・恵みを皆で共有し、伝えることが肝要である。用瀬教会の牧師と信徒の信頼関係の深まりの過程をもう少し詳しく聞きたかった。教会が高齢化しても足元を固め、次世代にバトンをタッチすれば将来を悲観することはない。

### 〔D分団〕

司会進行 廣田崇示師（鳥取信和教会）

教会の魅力作りについて自由に思っていることを話し合った。顔と顔を会わせることの大切さ、地区・教区の教会間での協力が重要である。また、どんな教会ならば身近な人を連れて行く気になるのか、について話し合った。「教区の集い」が良きものになるには地区の交わりが大切である。

## 〈まとめ〉

私たちの宣教活動は、教会の枠を超えて横への拡大と、次世代へ信仰を継承する縦への繋がりが大切であることを学んだ。

## 教会紹介

### 共に祈り合う米子教会

日本キリスト教団米子教会  
YCC(ユース・チャペル・クラブ)

田畑麻理子



日本キリスト  
教団米子教会は  
一九〇九(明治  
四二)年、鳥取  
県米子市西倉吉  
町に「東洋宣道  
会中央福音伝道

館」として設立されました。米子市内における何度かの移転を経て、一九六九(昭和四四)年に現在の東福原に会堂が定まりました。閑静な住宅地にあり、隣接する小学校からは元気な子どもたちの声が、初夏の夜には田んぼからカエルの大合唱が聞こえます。のどかな環境の中で、日曜日には四〇名程度が朝の礼拝に、夕拝にも五名ほどの教会員が集います。子どもたちも多く、礼拝の終盤には礼拝堂の前方に一〇名近くの子どもたちが集まって、一緒に頌栄を捧げます。子どもたちの元気な姿と明るい声と共に、一週間のスタートを切るができます。また、クリスマス礼拝や召天者祈念礼拝には、普段はなかなか教会に来ることができない兄弟姉妹や教会員の家族や友人も来られて、一緒に礼拝を守ります。このときは礼拝参加者が八〇

名近くが増えてとてもにぎやかになります。

三年前に米子教会は耐震基準に合った新会堂を立て上げるために、会堂建築委員会を立ち上げ、以降月一回礼拝後に話し合いをしています。教会の建て替えは公民館や文化ホールとはちがって、神さまのみ旨によって神さまのご計画のもとで行われるものです。「いと高き方は人の手で造ったようなものにはお住みになりません。」(使徒言行録七章四八節) 会堂建築委員会で話し合った内容の報告書をYCC(ユース・チャペル・クラブ)が作成して教会員に配付し、礼拝の終わりに会堂祈禱をしています。が、ワークシヨップを開いたり、壮年会や婦人会、YCCなど所属ごとで例会のときに話し合ったりして教会員一人ひとりの米子教会への思いを共有し、神さまに問いかけながら進めていきたいと思っています。六月にはYCCからの提案で「証の木」という取り組みをしようと思っています。教会員が「自分にとって米子教会はどんな存在か」「米子教会でどんなことをしたいか」などを葉っぱの形をした紙に書いて、模造紙に描かれた木に貼っていきます。お互いの思いを読み合うことで、心一つにして共に祈りながら、会堂建築に向かつていければと考えます。

聖書のみ言葉について、礼拝の他に黙想会(毎週水曜日)、祈祷会(毎週木曜日)、聖書勉強会(月一回土曜日)に学ぶ機会があることに感謝です。教会行事や伝道など教会生活についてだけでなく、勤務先や家庭生活においてもクリスチャンとして祈りをもつて選択し、実行し

ていけるよう、日々の生活を振り返りながら聖書のみ言葉に照らし合わせます。また、YCCの例会や婦人会料理教室、会堂建築委員会、伝道委員会、黙想会などの集会において、ときに兄弟姉妹の信仰生活を証として聞くことができます。信仰の先輩や仲間から学ぶこともたくさんあり、祈り合うことで神さまとのパイプがさらに強くなっていくことを感じます。これからも聖書のみ言葉の学びと米子教会に集う兄弟姉妹との交わりを大切にしていきたいと思っています。



# ナインの会(岡山中部地区女性会)

## 「五周年特別伝道企画」

### 「県北の教会を訪ねて」

#### 「信仰の継承と教会の再生」

総社教会 土井しのぶ

五月九日(月)、朝からの雨の中、この日のためのチャーターバスに各教会から乗り込んできた人達五〇人が向かった先は、岡山県北部地区の美作落合教会、久世教会、勝山教会でした。今、再生の喜びにあり、かつ、地域で頑張っておられる、まさに「希望！」を発信しておられる教会をお訪ねし、お互いが信仰に生きる励ましを得、共に神さまへの感謝・讚美の時を持ちたいと願っての企画でした。

ハレルヤ！神さま！ハレルヤ！  
恵まれた素晴らしい、満たされた旅でした。

一三〇周年記念を前にした美作落合教会には、行ったのが初めて方がほとんどでした。可愛らしい教会の前には、私たちの訪問を待っていたかのようには花が咲き、会堂内も美しく整えられていました。山本修一先生から一〇年



美作落合教会

前の会堂(荒れ果てていた)をお聞きし、驚きました。

久世教会の有米博子さんが書かれた『神さまあけて』の本をいただきましたが、その久世教会が見事に再生していました。開かれた久世教会で、この旅のメインの一つである武藤勇さんの証しをお聞きしました。彼の人生の大きな節目、明らかに「神の介入」の恵まれたその時、生かされて導かれての歩みが今に至っており、返し切れない神への感謝の気持ちを話されました。「受けるよりは与える方が幸い」(使徒言行録二〇章三五節)のパウロのように、「愛の行者」になりたいとお話し下さいました。

・そして、サプライズ!!妹さんであるジャズピアニストの武藤晶子さんがコンサートで帰省されていたのを、私たちのために滞在を一日延ばされました。これは教会のピアノ?と思わせられるほど素晴らしい演奏にうっとり。私たちの旅が色どり豊かに満たされました。そして、武藤さんのお家「風曜日」で昼食をとり、勝山教会に向かいました。勝山教会は久世教会と時に合同礼拝を守り頑張っておられます。ヨルダン会(中部地区の男性会)の人達が昨年ワークに行き汗を流した場所です。雨の中、傘をさし、その時の話しをヨルダン会の男性達から聞きました。

帰りのバスでは、「行って良かった!」の熱い思いに満たされ、全員無事に帰りました。なお、久世教会では倉吉地区からこの旅に合流された二人も加わり、なんと現地「風曜日」では七〇人超の昼食となりました。感謝。

## 東中国教区

### 第九回「教区の集い」のご案内

「教区の集い」実行委員会

テーマ:「ともに生きる」

ゲスト: 沢知恵さん

／トーク&詩の朗読

／かかわらなければ

日時: 一〇月九日(日)～一〇日(月)

場所: レイク大樹(鳥取市金沢六)

※後日詳細なご案内を致します。皆さまのご参加をお待ちしております。

◆ゲスト紹介: 沢知恵さん

一九七一年生まれ。日本、韓国、アメリカで育つ。両親ともに牧師。東京芸術大学在学中に歌手デビューし、現在まで二十七枚のアルバムを発表。ハンセン病療養所大島青松園で毎年コンサートを行っている。日本基督教団岡山教会員。

### 編集後記

通常よりも記事数の多い誌面になりました。教区HP、教区総会、新任教師紹介、伝道協議会、補聴システム紹介...。ニュースが多いと言う事は、教区活動が活発であることの証拠。今回も様々な教区の一面をお知らせできることに感謝いたします。ご執筆下さった方々のお働きに主の豊かな顧みがあるようお祈りいたします。

(A.F.)